

# 新みらい

第10号

主な内容

平成25年

9月議会/12月議会  
要旨報告

討議資料

発行責任者／中田 潤

編集責任者／三浦 茂人



県民の幸せと県政発展のため  
本年も全力で頑張ります！



秋田県議会 福祉環境委員会  
委員長 渡部 英治

普段、新聞やニュースなどで耳にする言葉や政策などを紹介します。

コーナー



## Q.『国民文化祭』とは？

A. 全国各地で様々な文化活動に親しんでいる個人や団体が、日頃の活動の成果や実力を披露し交流する「国内最大の文化の祭典」。昭和61年から毎年開催。

【第29回 国民文化祭・あきた2014】  
平成26年10月4日～11月3日

2014年の新年を迎えるにあたり、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、衆参ねじれが解消され巨大与党化した安倍政権が打ち出したアベノミクスにより、経済状況は一見改善されたかに思われますが、それは中央都市部だけであって依然として地方では景気回復の実感はなく、成長戦略は道半ばと言わざるを得ません。また、4月からは消費税が8%に上がり、県財政への影響も懸念されます。

いずれにしても、少子高齢化が急速に進行する県政にとって脱少子化対策をはじめ、新たな米政策への対応や景気回復と雇用確保などの最重要課題に真正面から果敢に取り組んでいかなければなりません。

私たち新みらいは、県議会第2会派として、県民の幸せと県政発展のため、本年も全力で頑張る所存であります。

引き続き、ご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

## 第三セクター等の経営に関する調査特別委員会を設置

〈設置日：平成25年12月20日〉



県出資の第三セクターや公立大学法人等の経営状況及び今後の経営計画等に関する所要の調査活動を行う

◆委員数 11名

◆第三セクター等 … 36団体

公益法人等	:	19	株式会社	:	13
公立大学法人	:	2	地方独立行政法人	:	2



# 9月県議会

（会期：9月12日～10月8日）

8月9日からの大雨などによる災害復旧対策事業のほか、国の基金を活用した事業など、秋田の元気づくりに向けた事業などについて計上した。



西目屋二ツ井線（藤里町）

## 9月議会で可決された主な議案

### 一般会計 補正予算

**87億4,733万円**

補正後の規模

**6,152億8,762万円**

- 災害復旧対策事業 ..... 40億 6,952万円  
(被害を受けた土木施設、県立学校施設の復旧を行う)
- 新事業展開資金 ..... 11億 4,305万円  
(再生可能エネルギー設備資金の融資枠を拡大する)
- あきた発！英語コミュニケーション能力育成事業 ..... 286万円  
(英語力の向上や異文化理解、国際協調の精神を培うため、1年間の海外留学を行う高校生などに対し助成する)
- 救急医療対策事業 ..... 600万円  
(災害派遣医療チーム「DMAT」の養成に要する経費に対し助成する)
- 高齢者等要援護者支え合い体制検証事業 ..... 593万円  
(高齢者等要援護者の除排雪、交通、買い物などを支援する「秋田型地域支援システム」を構築するため、モデル市町村を選定し、高齢者などの支援について検証を行う)

# 12月県議会

（会期：11月28日～12月20日）

8月から9月の豪雨などによる災害復旧対策事業のほか、降雪による果樹被害への対応に係る事業などについて計上した。



ぶどう棚倒壊（横手市大沢）

## 12月議会で可決された主な議案

### 一般会計 補正予算

**13億9,266万円**

補正後の規模

**6,166億8,029万円**

- 災害復旧対策事業 ..... 17億 932万円  
(被害を受けた市町村営などの農地・農業用施設や西目屋二ツ井線の復旧などを行う)
- あきた安全安心住まい推進事業（「秋田スギの家」づくり普及推進）  
(木造住宅の新築・改築工事で構造材の概ね70%以上に秋田スギ乾燥製品を使用した住宅に対し助成する) ..... 2,400万円
- 土砂災害危険箇所周知事業 ..... 1,000万円  
(地域住民などに土砂災害危険箇所の周知を図るため、住民説明会や危険箇所周知の看板設置を行う)
- あきた未来づくり交付金事業（大潟村分） ..... 100万円  
(県市町村未来づくり協働プログラムに基づき大潟村で実施される事業展開を支援する)
- 雪害復旧支援対策事業 ..... 6,259万円  
(降雪被害を受けた農業生産施設などの復旧及び再生産に向けた取組に対し助成する)

### 12月議会 一般質問



#### 土谷 勝 悅 [横手市]

- ◆ 農業問題について
- ◆ 秋田県の高速交通体系について
  - 山形新幹線の大曲延伸について
  - 秋田新幹線の横手延伸について
- ◆ 観光について
- ◆ 住宅リフォーム事業について

### 12月議会 総括審査質問



#### 渡部 英治 [大仙市仙北郡]

- ◆ 「第2期ふるさと秋田元気創造プラン(仮称)」について
- ◆ 米政策転換について
- ◆ 住宅リフォーム支援事業について



#### 佐藤 正一郎 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ 旧県立美術館建物の利活用について



12月議会 総括審査

# 渡部 英治の 県議会レポート

今回は、12月議会総括審査における質疑の概要について報告します。

## ●米政策転換について

**渡部**

知事の減反廃止容認発言には、県内農家の大半がショックを受けたと思う。

生産者の声や生産地の県との本質議論もなく、政府主導で拙速と言える段階での発言はもっと慎重にするべきです。

農家の自律と攻めの農業を打ち出した新たな米政策は、中小農家と大規模化という2極化が懸念されます。

果たして本県が目指す農業はどうなるのか、知事の所見を伺います。

また、生産者の声を十分に反映することが重要であり、推進本部、県民会議、アンケート調査も必要であるが、地域単位での生産者を交えた懇談会も実施すべきではないか。

**知事**

いろいろな考えはある。あの時点でいち早くああいう形で出して、そして東北6県、北海道東北知事会が控えていて、その時に全国で最初に農水省に対して「全体的に容認したわけで無い、我々の意見をしっかり聞きなさい。

5年後に向けて廃止ありきではないように。」と強く主張した。

2極化に関しては、農政の転換で大きく影響を受けるのは、農業所得の少ない小規模農家より大規模農家であり、農業法人でも多角経営に努力しているところとそうでないところで差ができるることは否めない。その辺を見極めながら、県としての農業政策を展開する。

**農林水産部長**

年明けから、地域で来年の営農に向けた座談会を各地で開催します。主な生産法人や農家と市町村、農業団体、地域振興局も一緒に意見交換を行い、地域や生産者の声を十分反映出来るよう、国に対しても積極的に提言したい。

## ●住宅リフォーム支援事業について

**渡部**

佐竹知事就任時に、全国初のリフォーム支援事業として、これまで約1,500億円と経済波及効果が大きく、景気の下支えとして重要な施策である本事業は、来年度以降も現行制度の事業継続をすべきでないか。

**知事**

財政は非常に厳しいが、来年度から全てやめるという発想はない。事業を継続するための理由付けと将来的な見通し、財源を確認しながら検討を進めたい。



知事、副知事と傍聴者との記念撮影（平成25年12月議会）